

展示ブース 学生特別企画・展示

「オリンピック・パラリンピックの歴史と意義」

東京 2020 年オリンピック・パラリンピックまで、あと 3 年と迫ってきた。2016 年に開催されたオリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議の最終報告「オリンピック・パラリンピック教育の推進に向けて」では、今後、子どもに重点的に育成すべき資質として、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の 5 つを掲げている。

本展示は、オリンピック・パラリンピックの歴史をポスターで振り返り、実際に日本選手団が獲得したメダルや使用した道具を観覧しながら、オリンピック・パラリンピックにより関心を高めていただくことを狙いとした。



展示ブース 三浦雄一郎記念ブース

「オンリーワンを目指して 世界最高齢エベレスト登頂」

2013 年 5 月 23 日、三浦雄一郎は 3 度目の世界最高峰エベレスト山 (8,848m) 登頂に成功し、世界最高年齢 (80 歳 224 日) での登頂記録を樹立した。三浦雄一郎の人生は、いつも「今から」であり、絶えなき冒険心、挑戦心とともに歩み続けている。

1992 年に学校法人創志学園が設立したクラーク記念国際高等学校の校長に就任した三浦雄一郎は、生徒に「挑戦すること」の大切さ、飽くなき「好奇心」と夢を追い続ける心を持つように指導してきた。2000 年にはヒマラヤ山脈のゴキョピーク (5,360m) をクラーク国際高等学校の高校生 35 名を連れて登頂。翌 2001 年にはヒマラヤ山脈のメラピーク (6,476m) へ登頂及び山頂直下よりスキー滑降を行っている。

「次世代の子ども達にも目標を持ち、挑戦し続けることを忘れないでほしい」。豊かな人生を歩む子どもが一人でも多く育つことを願って、オンリーワンを目指した三浦雄一郎の挑戦の記録を展示した。



コミュニケーションランチ 産学共同企画

「桃太郎を育てた豊かな食育」

一からだところを支える岡山地産地消のススメー

コミュニケーションランチでは、岡山県内の様々な生産者・団体から食材やランチの提供を受けるとともに、食育に関する展示なども行い、これらを話題にしながらランチタイムを過ごすことを狙いとした。

■提供メニュー・展示

- 米粉のシーワン／岡山県産米粉を使用した地産地消パンの提供とパネル展示
- IPU 学生フォーチーム「ICHIBANPHO」／岡山県産食材にてフォーを提供
- 総社市／総社カレー、チュッピーウォーター（高梁川源流地下水）の提供
- 三好野本店／岡山県産の食材を用いたお総菜を提供
- 瀬戸南高校／卵、米、プリザーブド フラワー、食パネルの展示
- 笑顔あふれる矢津の里プロジェクト／米、ハーブ、パクチ、他野菜等の展示・試食
岡山県産梨ヤーリーの試食。国際かかしフェスティバルの取り組みパネル展示
- 引両紋／岡山県産茶葉のテイスティング会

